



官制改正に就て

官制改正は、明治憲法に基き、天皇の命令によるものである。其の目的は、行政の効率を高め、責任を明確にし、國民の利益を保護することにある。...

日本對西伯利亞

日本對西伯利亞の要求は、東洋の平和と安定を確保するためのものである。西伯利亞は、我が國の安全保障に重要な役割を果たす。...

西伯利亞の試點

西伯利亞の試點は、我が國の外交政策の重要な一環である。これにより、我が國の国際的地位を高め、東洋の平和を維持する。...

朝鮮人と朝鮮

朝鮮人と朝鮮の問題は、東洋の平和と安定に深く関係している。我が國は、朝鮮の発展と安定のために努力する。...

時の人

時の人とは、時代の潮流に身をまかせ、責任を担う者である。彼らは、我が國の発展と国民の幸福のために努力する。...

前田利定子

前田利定子は、我が國の著名な女性である。彼女は、教育と社会活動に貢献し、国民の尊敬を受ける。...

少女画報 女學校でも、小學校でも、大評判となった

性的心理 ハワロックエリス著 鷲尾浩譯

性心理 鷲尾浩著

性心理 鷲尾浩著

性心理 鷲尾浩著

性心理 鷲尾浩著

性心理 鷲尾浩著

性心理 鷲尾浩著

性心理 鷲尾浩著

生徒募集

生徒募集

生徒募集

生徒募集

生徒募集

生徒募集

生徒募集

生徒募集

生徒募集

21切

21切

21切

21切

21切

21切

21切

21切

21切



# ヤップ島電線

二日發電

米國側態度  
ヤップ島電線の敷設は、米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 日米交渉延期否認

二日發電

米國上院の論議  
日米交渉の延期は、米國上院の論議の結果、延期と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 軍備縮小討議

二日發電

米國上院の論議  
軍備縮小の討議は、米國上院の論議の結果、延期と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 貴族院本會議

十四日

高橋蔵相  
貴族院本會議は、十四日、高橋蔵相の報告を聴き、討論の後、閉會した。高橋蔵相は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 内田外相

二日發電

米國側態度  
内田外相は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 若槻外相

二日發電

米國側態度  
若槻外相は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 山本農相

二日發電

米國側態度  
山本農相は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 柳澤保衛相

二日發電

米國側態度  
柳澤保衛相は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 小川國調總裁

二日發電

米國側態度  
小川國調總裁は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 朝鮮法案

二日發電

米國側態度  
朝鮮法案は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 救済金割當

二日發電

米國側態度  
救済金割當は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 兩軍開戦

二日發電

米國側態度  
兩軍開戦は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 官紀紊亂決議案

二日發電

米國側態度  
官紀紊亂決議案は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 聯省政府大綱

二日發電

米國側態度  
聯省政府大綱は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 滿鐵問題質問書

二日發電

米國側態度  
滿鐵問題質問書は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 官制改正

二日發電

米國側態度  
官制改正は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 總督熱心に民意を傾聴

二日發電

米國側態度  
總督熱心に民意を傾聴は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 宮相の後任

二日發電

米國側態度  
宮相の後任は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 滿鐵幹部總辭職

二日發電

米國側態度  
滿鐵幹部總辭職は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 咸興平野の曉色

二日發電

米國側態度  
咸興平野の曉色は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 高等學校見合せ

二日發電

米國側態度  
高等學校見合せは、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 司法官

二日發電

米國側態度  
司法官は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 私立校長會議

二日發電

米國側態度  
私立校長會議は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 大庭軍司令官

二日發電

米國側態度  
大庭軍司令官は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 天象

二日發電

米國側態度  
天象は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 怪火頻々

二日發電

米國側態度  
怪火頻々は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。

# 町村長の

二日發電

米國側態度  
町村長は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。米國側は、この島に於ける米國の利益を保護する爲め、必要と見做す。











# 奥座敷に鼎座して 三元老の密議

## 松方侯は熱海から 西園寺公は興津から 小田原の古稀庵に集つて

【小田原】松方侯と西園寺公は、奥座敷に鼎座して、三元老の密議を行つた。松方侯は熱海から、西園寺公は興津から、小田原の古稀庵に集つて、三元老の密議を行つた。三元老は、松方侯、西園寺公、小田原の古稀庵に集つて、三元老の密議を行つた。三元老は、松方侯、西園寺公、小田原の古稀庵に集つて、三元老の密議を行つた。

# 元老會議の結果 宮相後任決定か

## 松方侯葉山へ伺候せん

【小田原】松方侯は、元老會議の結果、宮相後任決定か、松方侯葉山へ伺候せん。松方侯は、元老會議の結果、宮相後任決定か、松方侯葉山へ伺候せん。松方侯は、元老會議の結果、宮相後任決定か、松方侯葉山へ伺候せん。

# 久瀨宮邦久王殿下 臣籍に降下されん

## 明春御成年式舉行と共に 侯爵に御降下の御希望

【小田原】久瀨宮邦久王殿下は、臣籍に降下されん。明春御成年式舉行と共に、侯爵に御降下の御希望。久瀨宮邦久王殿下は、臣籍に降下されん。明春御成年式舉行と共に、侯爵に御降下の御希望。

# 撫順縣の鮮人 自治團を組織す

## を組織す

【撫順】撫順縣の鮮人は、自治團を組織す。撫順縣の鮮人は、自治團を組織す。撫順縣の鮮人は、自治團を組織す。

# 松方侯の辭意 宮相辭職に關聯して

## 宮相辭職に關聯して

【小田原】松方侯は、宮相辭職に關聯して、辭意を示した。松方侯は、宮相辭職に關聯して、辭意を示した。松方侯は、宮相辭職に關聯して、辭意を示した。

# 大宣傳計畫 名士の講演、活動寫眞

## 名士の講演、活動寫眞

【小田原】大宣傳計畫は、名士の講演、活動寫眞で行われる。大宣傳計畫は、名士の講演、活動寫眞で行われる。大宣傳計畫は、名士の講演、活動寫眞で行われる。

# 近々東京釜山間に 飛行機二十臺を輸入して

## 郵便飛行から旅客輸送まで 許可證を提出する運びになつた

【小田原】近々東京釜山間に、飛行機二十臺を輸入して、郵便飛行から旅客輸送まで、許可證を提出する運びになつた。近々東京釜山間に、飛行機二十臺を輸入して、郵便飛行から旅客輸送まで、許可證を提出する運びになつた。

# 警視總監の輔當 首相の大目玉で

## 首相の大目玉で

【小田原】警視總監の輔當は、首相の大目玉で、警視總監の輔當は、首相の大目玉で、警視總監の輔當は、首相の大目玉で。

# 大演說會混亂 暴漢主催者を傷く

## 暴漢主催者を傷く

【小田原】大演說會は、暴漢主催者を傷く、大演說會は、暴漢主催者を傷く、大演說會は、暴漢主催者を傷く。

# 革命の權化 舞姫の戀

## 舞姫の戀

【小田原】革命の權化は、舞姫の戀、革命の權化は、舞姫の戀、革命の權化は、舞姫の戀。

# 交通整理 事故が多い

## 事故が多い

【小田原】交通整理は、事故が多い、交通整理は、事故が多い、交通整理は、事故が多い。

# 朝火事 下駄屋が火元

## 下駄屋が火元

【小田原】朝火事は、下駄屋が火元、朝火事は、下駄屋が火元、朝火事は、下駄屋が火元。

# 陸軍志願募集 満洲軍官候補生

## 満洲軍官候補生

【小田原】陸軍志願募集は、満洲軍官候補生、陸軍志願募集は、満洲軍官候補生、陸軍志願募集は、満洲軍官候補生。

# 京城日報社 廣告外交易募集

## 廣告外交易募集

【小田原】京城日報社は、廣告外交易募集、京城日報社は、廣告外交易募集、京城日報社は、廣告外交易募集。

# 地獄耳 時計界の情眼を破る

## 時計界の情眼を破る

【小田原】地獄耳は、時計界の情眼を破る、地獄耳は、時計界の情眼を破る、地獄耳は、時計界の情眼を破る。

# 時計界の情眼を破る 時計界の情眼を破る

## 時計界の情眼を破る

【小田原】時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る。

# 鏡 満洲軍官候補生

## 満洲軍官候補生

【小田原】鏡は、満洲軍官候補生、鏡は、満洲軍官候補生、鏡は、満洲軍官候補生。

# 寫眞機材料 直輸入

## 直輸入

【小田原】寫眞機材料は、直輸入、寫眞機材料は、直輸入、寫眞機材料は、直輸入。

# 大蔵省 市田債券部

## 市田債券部

【小田原】大蔵省は、市田債券部、大蔵省は、市田債券部、大蔵省は、市田債券部。

# 野村千太郎商店 野村千太郎商店

## 野村千太郎商店

【小田原】野村千太郎商店は、野村千太郎商店、野村千太郎商店は、野村千太郎商店。

# 松盛堂時計店 松盛堂時計店

## 松盛堂時計店

【小田原】松盛堂時計店は、松盛堂時計店、松盛堂時計店は、松盛堂時計店。

# 時計界の情眼を破る 時計界の情眼を破る

## 時計界の情眼を破る

【小田原】時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る。

# 時計界の情眼を破る 時計界の情眼を破る

## 時計界の情眼を破る

【小田原】時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る。

# 時計界の情眼を破る 時計界の情眼を破る

## 時計界の情眼を破る

【小田原】時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る、時計界の情眼を破る。



1100

ね、夫れで……のん役はからうさるんです。  
 氣な飯達も正右に驚いた。見ればお茶なごを喜ぶ顔でもねえが、  
 最う館の色が變つて居る。其時、師匠や清澤なんぞは滑稽  
 うしました。六「其非、何と云ふ事にもなるか知れぬわい。」  
 して東渡遊師へはオマケ、大急ぎ  
 のお布令が出まして、當分田の  
 宿まゝ出口入口に嚴重なる關  
 所が立ちました。宿に作らな  
 て辱る者を認めさせてお前のお  
 お客達は勿論一々取調べて其の  
 お波風の溜まりない内は一切通  
 が出来ることになりました。  
 此方、大急ぎで何でござ  
 います三日間は御滞在を願は  
 された成りませう。君も御滞  
 在はお泊り位はおし儀がおあ  
 ります。」「然うでございますか  
 い。怒りの太刀こをする娘があ  
 るので、宇津の舟船  
 ……へ、だが此方は三州の  
 品出でず、大急ぎで並運く  
 難い。居る此の川まで其の川

津の舟船の件も今斯の  
 嚴重な取調で、關所が出口口  
 に立つたといふ、此の  
 の中には一件の金子が、千  
 一つ宛れて居る道がねわい  
 たつて来た。」「  
 飯達は唯目ばかりバチ／＼  
 て居る。」「  
 龍を見て居りましたが  
 ……へ、ハ……」  
 定安、傳言、傳言、傳言、  
 突しくつ笑ひかかる、大

初發來の死に二十五名現在  
 病者九十五名にして今後、  
 蔓延の傾向ありと噂す也。  
**内房に強盜**  
 昨、イノールに於けるペスト

[illegible]

所 賣 専 流  
 元山本町二丁目  
 平壤郵便本局前  
 鎮南浦三和町  
 仁川宮町二丁目  
 大邱三町停車場通  
 咸興本町二丁目  
 晉州大空洞  
 安東驛四番通五丁目  
 長春祝町五丁目六  
 奉天松島町二  
 撫順高砂町二  
 大連近代町磐城町角  
 満洲實業所 有田ドラッグ  
 有田音松 松を 買取あり

の  
お  
順  
化  
序  
粧

粉ク  
白ク  
流ク  
石カ  
紅ク  
赤ク  
粉ク  
白ク  
流ク  
石カ



# 顔のアレぬの

# カテイ

# 石鹸

ト師中驗四十  
氏ウ山に十  
製ニ太擦余  
造エン陽げ年  
擔ライ堂たを  
任技る石

**憤怒の拳銃**

先を計つて、春香しめ金のは又派出所に訴へ「ここは同じ徳蘭手仲間なる野田として附近の人に取押さへらるゝに密造脱獄を企て大正七年九月なり」としめし事、春香は一日午後八時、拳銃にて幸水町及富平町二丁目五番地葡萄園並に山頂に突如として襲撃せられ二千六百餘名を逮捕、平安北道

春香の妻フヤ（こ）昨午一時  
しめし事、春香は一日午後八時、  
葡萄園並に山頂に突如として襲撃せられ二千六百餘名を逮捕、平安北道

（大阪）  
頃より本年に亘り數十石を販賣し藥利を食ひ居るを此の毒師粉初百更に獲れ發せされ二千六百餘名を逮捕、平安北道

**四名を逮捕**

平安北道

前六時、破曉即ち朝になり、







2	1
---	---

然、思ひましたけさね、長く待ちしりますよ。貞子さん連れられて、らつしやいよ」  
「あア、然うだとも……もう何れ、あの〆目にかゝつて、い  
「わ、お膝さまで……あの、  
大膽肥りましたの目方がね、  
三晝ばかり増えましたわ。ほ、  
然うですか。何より結構です  
よ。そして貞子も無事で……もう  
胸が大きくなったでしょうね  
「ながく、おしやまさんになり  
ましたの。大分な、何かに喋れま  
すのよ。柳子は然う言つて又  
笑たが、急に低い聲になつて  
「あの、今朝の新聞にお父さま  
の解のこが、些こ出てをり  
ますが、何か御前でも出たんで  
すから……」  
「さうなら。お父さまに宜し  
それで電話を切つて、ふふ  
柳子は急に何か問題の渦中  
引込まれたさうな氣がして、  
然うしてはるゝ氣がなかつた。  
して慶を解かし付たり何かに  
てゐるうちに、直ぐ近くには  
「おの、早く早目に御覽  
通はさす、早急支度をして、自  
分達は電車に乗つて、

應援を見せるが淋しかった。  
 綱子は不幸な自分の立場を悲  
 ますにはゐるゐる。  
 こんなことをいつ思つ  
 るうちに、仲はがて質實な  
 著いた。古い黒木の下を  
 へ、暖かき中じりつて  
 した松なさが四五、植  
 るて、硝子窓の隙間や、  
 脇の格子窓や膝手口なを  
 頼まれた目に立つて、荒れに來た  
 へに思へた。綱子はそれが嫌  
 なくも嫌ましく思へて、自然  
 りなつた。

[illegible][illegible]

櫻の露が金朝すたれて  
冬風凄しく物干しの淋しさある  
九十九  
鹿が鳴いて北風に松林は揺る  
金鐘城  
二月の月が鏡の如く初めぬ日  
二才子に生くまほれなく葉  
角子  
散竹屏風りあやし銀鼓  
階へは来る父ささらさる風吹く  
つ

秋風 嵐  
夕月に聴くよ木の機織聲に雪  
歸る数人の足音がしり見える  
なまめ早稲子時かかんとする  
春夜の歌が三日もの空をうら  
我は忘れ夜には果の露のした  
茶色の草巻をし一光で通ふさ  
○D・C・O○

新刊紹卷

事佐佐木山本内膳傳(世評軒  
國王物語)長壽殿御説十一度ある  
面、即玉子物語の續編一處あり  
面白からず殊に引続きたるやなし  
十七益なき日本書紀右町師文宣  
てんてん(二)「日本書紀」  
てんてん(三)

谷へ渡して御寺者の當座上人  
七年前に來て居る者自明の  
京へ歸られたる上東宮の何處へ  
ませ人名入へ小生今歸朝と即末本  
方にて讀み終へし三つたづま  
ならぬ申哉心當りの方は小  
左衛門守中下馬し二月五日附七  
町市南寄町第五七番長)

聯珠競技(第四十)  
初段 横山 雲珠  
先手勝 一級 小野 華美

白甘士の後いろはの勝  
〇七段内更右有群 黒七勝  
「十九」に打ちか 白十八懸し  
いに引きつく 白十八懸し  
いに當て次ににに助ぐ可宜

此の高貴藥を實費で御分けしま  
す。調剤に限りあり、今直ぐ三

[illegible]

のめ、圓九十、  
星牌の四五十、  
電燈の體を持つた法外の大  
會！

御希望の方は今直にカギキにて  
申されし橋本町丁目に入る  
中、物置屋三三四番東京西商店  
電話掛三三四番東京西商店

たんせんそく


不思議にとれる！

[illegible]

此藥酒係  
石八郎治製

愛魚酒

# 重穴




精思  
味淋

此藥酒係  
石八郎治製

愛魚酒

# 重穴




精思  
味淋

此藥酒係  
石八郎治製

愛魚酒

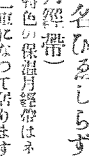
# 重穴




精思  
味淋

生入  
月經帶  
一名(ゐしらす)

特色の保冷月經帶はネル  
二重になつて居りますか  
ら暖がホク、冷しく入ら



The illustration is divided into two horizontal sections. The top section shows a woman from the waist up, wearing a light-colored, short-sleeved swimsuit with a dark waistband and a small bow. She is looking down and slightly to her left, with her right hand near her face. The bottom section shows a man from the chest up, wearing a dark cap with a small bow and a dark, textured garment. He is looking down and to his right. A thick, dark, curved line separates the two scenes.



温子供印 本舖 鈴木商店

石川所ノ食料品乾物店藥店ニアリ